



平成25年5月

<第8号>

柏市立柏病院

【住所】 柏市布施 1-3

【電話】 04-7134-2000

新年度

新年度になり、新しい生活を始められた方も多いかと思えます。当院でも数名の医師の交代がありました。主治医が替わった方にはご不便をおかけしますが、医師は異動によって研鑽を積み上げていく面もあり、ご理解いただければ幸いです。

各部署の職員も、研修や資格取得によりレベルアップを目指しています。診療で疑問な点がございましたら、新しい主治医やその場の職員にどうぞご質問ください。皆さまのご意見を頂きながら、今年度もより良い病院造りを目指してまいります。



病院長 野坂 俊壽

平成25年度

新任医師紹介



今年度より新しく着任した常勤の医師をご紹介します。それぞれの医師に、①出身地 ②出身大学 ③趣味 ④子供の頃の夢 ⑤当院へ初めて勤務されたときの印象 ⑥診療に心がけていること・大切に思っていること を聞いてみました。

no-image

木村 青児 (きむら せいじ)

<整形外科> ①東京都
②千葉大学 ③テニス・映画鑑賞
④宇宙飛行士 ⑥患者さんの生活環境、背景を考え、最善の治療ができるよう心がけています。

no-image

三浦 富之 (みうら とみゆき)

<外科> ①埼玉県 ②筑波大学
③ドライブ・旅行・テニス ④パイロット ⑤スタッフの方々が明るく、フレンドリーで優しい。
⑥まだまだ未熟ですが、患者さんのお話によく傾聴して、一人一人のニーズに応えられるよう、診療を行っていきたいと思います。

no-image

伊東 英里 (いとう えり)

<消化器内科> ①千葉県 ②札幌医科大学 ③読書・料理・小旅行
④お菓子屋さん ⑤桜の木が多いなと思いました。
⑥適時に適格な診断ができること、経過観察する勇気を持つこと、反省することです。

no-image

小林 小の実 (こばやし このみ)

<消化器内科> ①千葉県 ②福島県立医科大学 ③ピアノ・ものづくり ⑤スタッフの方々がすごく優しくて、嬉しかったです。
⑥患者さんが幸せになれば良いと思っています。一人一人に合わせたゴールを。

no-image

小林 正貴 (こばやし まさき)

<研修医> ①東京都 ②東京医科歯科大学 ③水泳 ④警察官(交番勤務) ⑤明るい病院だなと思いました。⑥まだまだ未熟ですが、患者さんが満足できる医療を実践できるよう努力していきます。

4月に異動された 医師のご案内



藤田 映輝 <消化器内科>
山本 満千 <消化器内科>
大島 敬 <消化器内科>
篠原 宏成 <眼科>

菅野 真彦 <整形外科>
細矢 徳子 <外科>
土井 将史 <研修医>
谷田貝 昂 <研修医>

新年度の異動に伴い、外来医師担当表に変更があります。今号の4、5ページで**外来医師担当表**を掲載しておりますので、そちらでご確認ください。

また、常勤医師のみをご紹介させていただきました。非常勤の医師については、外来各科受付にお問い合わせください。

病気のお話シリーズ ④

『乳がん』

<外科>

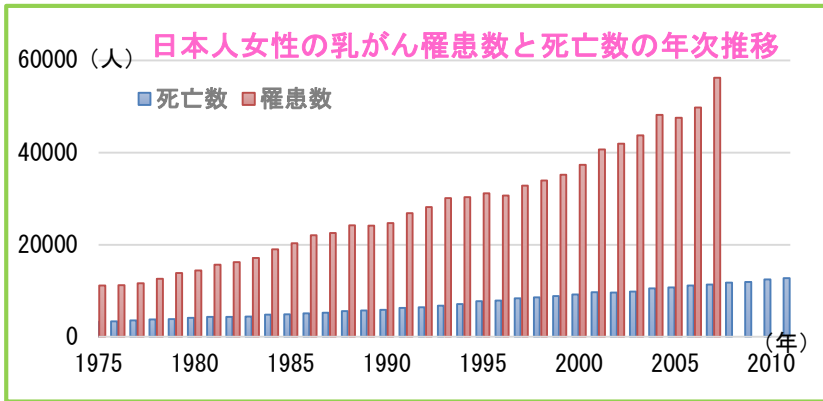


平成25年度の柏市の乳がん検診が5月から始まります。今回は『乳がん』について、外科の医師からお話を聞きました。なお3月に異動された 細谷 徳子 医師にもご協力いただいています。

 今回ご協力いただいた
外科の医師を御紹介します！

Q. 現在の「乳がん」の動向について教えてください。

A. 日本人女性で乳がんにかかる方の数(罹患数)および乳がんが原因で亡くなる方の数(死亡数)はともに一貫して増加しており、過去20年の間にいずれも倍以上になっています<下のグラフ>。今や、日本人女性の16人に1人が乳がんにかかると言われていています。
マンモグラフィーやエコー(超音波)検診により無症状で発見される乳がんが増えつつありますが、日本人の乳がん検診受診率は30%程度と決して高くありません。



写真左から 千代延 記道 医師
林 政澤 医師
野坂 俊壽 医師
三浦 富之 医師 です。

Q. 日ごろから気を付けなければいけない点を教えてください。

A. 乳がんのリスク要因としてこれまでに確立されたものは、初経年齢が早い、閉経年齢が遅い、出産歴がないか初産年齢が遅い、一親等の乳がんの家族歴などですが、これらのリスクを意識的に改善することは難しいと思います。日ごろから気を付けることで減らせる乳がんリスク要因としては、「閉経後の肥満」が挙げられ、閉経後の女性では運動による乳がんリスク減少がほぼ確実とされています。
とはいえ現時点では乳がん予防とまで言える方法はありませんので、「乳がんにならないように気を付ける」よりも「乳がんになった場合に早く見つかるようにする」ことが大切です。乳がんは早期に発見されるほど生存率が高くなるからです。定期的ながん検診を受診し、月1回の自己検診を行いましょう。

まずは、軽い
運動から始め
ませんか？



Q. 自己検診について、教えてください。

A. 画像検査で見つかる乳がんも増えてはいませんが、自分でしこりを見つけて乳がんが発覚する場合は今でも8~9割です。(※『しこり=がん』ではありません。良性のしこりも多く存在します。) 月経のある方は月経終了後1週間前後に、閉経後の方は月1回日を決めて、自己検診を行うと良いでしょう。自己検診では、指の腹を使って乳房を胸に押し付けるようにし、固い箇所がないかどうか調べてください。乳がんの多くは脂肪や正常乳腺に比べて、固いしこりを作ることが多いためです。授乳期でないのに乳汁が出る場合、多くは乳がんとは無関係ですが、念のため病院での検査をおすすめします。

Q. 病院ではどんな検査をして診断するのでしょうか。

- A. ① まず医師による視触診を行い、次にマンモグラフィーとエコー検査で、悪性を疑う石灰化やしこりの有無を調べます。
② 悪性を疑う部分があれば、その部分に針を刺して細胞を採取し顕微鏡検査で良悪性を判断します。
③ 悪性、つまり乳がんであることが判明したら、がんの広がりを調べるためにCT検査やMRI検査を行います。

これらの検査結果を総合して、手術などの治療方法を検討していきます。



次のページは、『乳がん』を診断する検査、マンモグラフィーと乳腺超音波検査(エコー)のお話です。

『乳がん』に関連して・・・

マンモグラフィー & 乳腺超音波検査（エコー）



マンモグラフィー

マンモグラフィーってどんな検査？

乳房専用のX線装置を用いたレントゲン検査です。乳房を片側ずつ上下あるいは左右から圧迫し、うすく、平たく伸ばして撮影していきます。

痛いってよく聞きますが本当ですか？

マンモグラフィーは板状のもので乳房をはさみ圧迫して撮影するため、痛みを感じる場合があります。乳房の大きさや厚みは人によって違いがあるため、乳房を均一な厚さにし、うすく広げることにより、少ないX線できれいな写真を撮影することができます。圧迫される時間は10数秒程度です。小さい石灰化やしこりを見つけるために大切なことなのでご協力をお願いします。

石灰化とは・・・

乳房の悪性疾患には、石灰化が伴うことが多くあります。ただし石灰化には良性のものと悪性のものがあるため、形状や分布のしかたによって診断をします。悪性の石灰化は非常に小さく、詳しく観察するためには拡大鏡の使用が必要になることがあります。



マンモグラフィー、乳腺超音波検査（エコー）共に、女性技師が行っています。



乳腺超音波検査（エコー）

乳腺超音波検査（エコー）ってどんな検査？

胸にエコーゼリーを塗って、超音波で乳房内を観察する検査です。

女性の乳房は皮膚、脂肪組織、乳腺、結合組織から出来ていて、主に乳腺の中にガン（悪性）を疑う腫瘍（できもの）が出来ていないかを調べています。乳ガンにも色々な種類があり、タイプによって超音波の見え方も違ってきます。



嚢胞（良性）



硬癌（悪性）

悪性か良性かハッキリしない場合は？

エコー上、悪性か良性かハッキリしない場合や強く悪性を疑う場合は、医師が針を刺して腫瘍（できもの）の中の細胞や組織を採取して、悪性か良性かを検査したりもします。ガンの他にも乳腺症や乳腺炎、女性化乳房症、皮下腫瘍等の検査も行っています。



まずは検診を受けましょう！

マンモグラフィーは微細な石灰化を見つけ出したり、石灰化の性状や範囲を見ます。また左右の比較ができ、全体像が把握できるため、乳房全体に腫瘍（できもの）や石灰化があるかどうかのふり分けに適しています。

乳腺超音波検査（エコー）は腫瘍（できもの）が良性か悪性かを判断する材料となり、小さな腫瘍でも性状を把握することができます。

それぞれの長所を生かし、柏市の乳がん検診では触診とマンモグラフィーでふり分けを行い、石灰化や腫瘍（できもの）があり、悪性が疑わしい場合には、その部分を重点的に乳腺超音波検査（エコー）で精密検査を行います。『乳がん』がご心配な方は、まず検診を受けられることをおすすめします。

お知らせ



第3回 満足度調査を実施します。

～平成 25 年度 満足度調査実行委員会～

当院を利用されていらっしゃる方々を対象に、第3回満足度調査を実施させていただきます。満足度調査の目的は、当院を利用されている方々から病院を利用する上での満足度を継続して調査することによって、当院の診療、設備など今後の改善に役立たせていただくものです。平成21年度、平成23年度に引き続き今回が3回目の調査となります。

アンケートの方法は、アンケート用紙を職員が直接ご来院されている皆様にお渡しいたします。調査の結果は院内職員による集計と分析の後、院内での掲示などで結果の要約をご報告させていただきます。



ご協力・ご理解の程お願い申し上げます。

【調査日程予定】

外来に来院された方への調査

6月17日(月)～6月21日(金)

退院される方への調査

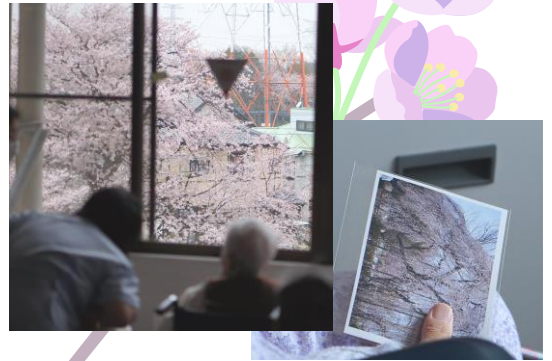
6月10日(月)～7月9日(火)

ボランティア活動日誌

患者を支える会

4月2日(火)

今日はお花見の予定が雨でお流れ。それでも介護福祉士さんたちの計らいで、病棟内の2か所の観桜スポットから4人の患者さんがお花見を楽しむことが出来ました。「ひとりで見るより、みんなと一緒に見るほうが嬉しい」と。お花見がご一緒出来なかった患者さんには、流山・清瀧院の枝垂れ桜の写真(3月28日撮影)を印刷した絵はがきをプレゼントさせていただきました。退院前に、ご自分宛てに郵送して下さるように・・・。



駐車場を拡充しました。

駐車場が混み合っご迷惑をお掛けしておりましたが、このたび利用者の駐車場を拡大いたしました。建物の裏手の場所になり、少し分かりづらいため、写真付きでご案内します。



西側駐車場の左手奥に、病棟裏の駐車場へ通じる道がございます。
※ 道が狭くなっておりますので、注意して走行してください。

【東側】 16台

- ・ ・ 新しい駐車場
- ・ ・ 既存の駐車場

入口

【南側(正面)】

当院からのお願い
バス停留所の前は、バスの転回スペースとなっておりますので、運行の妨げにならないよう、駐車はご遠慮ください。

当院の取り組み



ACLS研修会実施の報告（医療安全管理室）

3月23日（土）に院内でACLS（二次救命処置）の研修会が行われ、医療安全管理室 三田 玲子 師長の協力のもと、取材をさせていただきました。

BLS（一次救命処置）とACLS（二次救命処置）

【一次救命処置(Basic Life Support: BLS)】心肺蘇生、AEDによる除細動、気道異物除去を含めた救急処置。AEDや感染防御具、包帯などの簡易な器具以外には特殊な医療資材を用いない。

【二次救命処置(Advanced Cardiovascular Life Support: ACLS)】心肺蘇生、電氣的除細動、気道異物除去、蘇生後の急性病態における呼吸・循環管理を始めとする全身管理を含めた救急処置。一次救命処置と異なり、高度な医療資材を用いるため医療従事者のみが行う。

BLSを発生現場で施したのち、それを引き継ぎ、ACLSは医療機関等が行う高度な救命処置ということになります。

ACLS研修会 <準備から研修会本番まで>

ACLS研修企画にあたり、ACLSガイドラインアルゴリズム2010の研修を受講し、資格を持っているスタッフ6名に、研修会の指導員として協力を依頼しました。

企画段階では全員が集まれる機会が少ない中、打ち合わせが行われました。研修会で行うシミュレーションを実際に試し、一つ一つの技術の確認やセリフ作りを行いました。限られた貴重な時間であったため、真剣に意見交換がされ、進めていくうちに6名のチームワークが生まれました。



今回の研修会の目標

救急患者に対応する上で、より確実な処置・判断とチーム医療の必要性を理解し、シミュレーションで蘇生の質を高め、評価を適切に行えることとしました。

研修には看護師・技師など25名が参加しました。研修開始時は皆が緊張している様子が見てとれました。しかしシミュレーションを繰り返していくうち、流れや役割が理解でき、スタッフ同士の連携もスムーズになり、チームの一体感を感じました。



野坂院長挨拶のあと、指導員に加え、研修医の土井医師・谷田貝医師、循環器内科の宮崎医師・大東医師、外科の林医師にも指導していただきました。

研修生の感想

『患者さんを助ける為には、自分が想像していた以上のチームワークと知識が必要なんだと再確認しました。』

『チームで役割分担して行動するために、指示が出せないとみんなが動けなくなってしまい、自分が何をすべきなのか、理解していないと指示が出せないことがよく分かりました。』

当初の目標としていたチーム医療の必要性と知識・技術の習得は達成できたと思います。平成25年度は、BLS（一次救命処置）ACLS（二次救命処置）の研修を企画しています。緊急時にチーム医療の重要性を理解し、スタッフ一人一人が躊躇することなくチーム医療を実践できるようになれることが最終目標です。



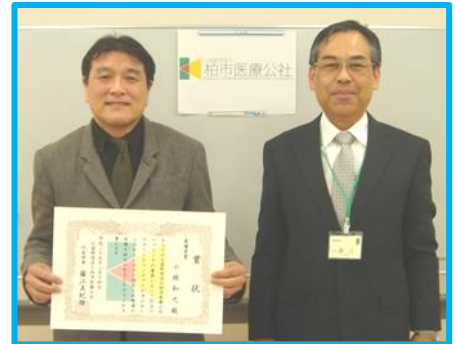
公益財団法人柏市医療公社のロゴマークが決定しました。(2月)

柏市立柏病院の運営母体である柏市医療公社が、公益財団法人の認可を受けたことを記念して募集をしたロゴマークについて、応募32作品の中から柏市在住の小林和之さんの作品が最優秀賞に選ばれました。今後、このロゴマークは公益財団法人柏市医療公社のホームページや印刷物などに広く使用していきます。

【最優秀賞作品】



コンセプトは、「柏市民の健康」を願ったもので、柏の「K」をデザイン化し、緑色で「市民」、黄色で「医療」、赤色で「病院をはじめとする各事業」を表し、それらが常に市民の中にあることを示しています。



最優秀賞 小林 和之さん[㊦]と
代表理事 藤江 美紀雄[㊦]

骨密度測定装置が新しくなりました。(3月)

骨密度測定装置を3月11日(月)に更新しました。今まで入っていた装置と同じホロジック社製の新しい装置になります。そのままデータが移行されますので、これまで当院で検査された患者さんも、今までと全く変わらずに経過を観察することができます。なお当院では、他部位より精度の高い腰椎と大腿骨頸部、2ヶ所の骨密度を測定しております。『骨粗鬆症』がご心配な方は、整形外科または主治医の先生にご相談ください。



新しくなった骨密度測定装置
(ホロジック社製 QDR-Discovery A型)

当院ホームページでは、広報誌 NEWS 中でお伝えできなかった詳しい情報も掲載しています。是非アクセスしてみてください。

柏市立柏病院

検索

看護部よりお知らせ



夏休み一日看護体験

夏休みを利用して病院見学と看護体験に参加してみませんか？

- 日程 ▶ 8月1日(木)～2日(金)
8月5日(月)～9日(金)
※日程の相談も受けます。
- 時間 ▶ 施設見学のみ 9時～11時
施設見学と看護体験 9時～15時
- 対象者 ▶ 高校生、看護学生
これから看護師を目指す方
- 持ち物 ▶ 白衣もしくは体操着、シューズ
- 参加費 ▶ 無料(施設見学と看護体験参加の方は、ランチ付きです。)
- 締切 ▶ 7月26日(金)
- 連絡先 ▶ 公益財団法人 柏市医療公社
柏市立柏病院
☎ 04-7134-2000
総務課 田村



診察・検査を受けられる方へ



ご本人確認についてのお願い

診察・検査の為に名前を呼んだ際、来院された別の方が返事をされ、入室されるということが報告されております。当院の医療スタッフは、フルネームや生年月日での確認を心掛けておりますが、安全確認の為、来院された方からもご自分のお名前(フルネーム)を診察・検査前にお伝えいただけるよう、ご協力をお願いします。また医療スタッフが確認を忘れてしまった場合には、注意の言葉をお願いいたします。



編集後記

本号では、新任医師の紹介をはじめ、当院での取り組み等を掲載いたしました。今後も多くの方に読んでいただけるような広報誌作りを目指してまいります。

広報委員 三宅 佑実(医事課)